

平成25年度 三条市学校保健部 活動報告

部長 小野島 臣儀

1 今年度の部活動

(1) 今年度の部活動の概要

| 月 日 | 活動の概要 (活動名、概要、指導者等) | 会場・参加者数 |
|--------------|---|---------------------|
| 6月21日 (金) | 講義 「実験を取り入れた保健教育」 講師 中越教育事務所 指導主事 金澤 日呂子 様 <概要>学習指導要領の内容をもとに、保健学習、保健指導の中で児童が納得した知識を得るための実験の活用の仕方等を学んだ。後半は、実際にイソジン液を用いた手洗い実験、ニンヒドリン反応実験等を行った。 | 会場：月岡小学校 参加者：24名 |
| 9月25日 (水) | 講演 「心と体のセルフメンテナンス」 ～脳とカラダの関係性を知って自分を活かす！ 講師 ボディーワークショップ Garage-1 主宰 水科 江利子 様 <概要>言葉やイメージなどで自分自身の心身の状態をコントロールすること、また、心と体のつながりを知りその関係性をよりよくするための講演を聞いた。その中に、実際に体をほぐす筋膜ケアの演習をし、体をほぐすと心も楽になることを実際に体験することができた。 | 会場：月岡小学校 参加者：27名 |

(2) 今年度の成果と反省等

<1回目>

- 実際にやることができ子どもたちへ指導をする自信がついた。一人ではなかなか取り組めないことも、研修会ではできるのでありがたい。
- 子どもが「納得」することで得た知識は子どもにしっかり植えつけられる、ということ研修で実感した。保健指導にぜひ取り入れてみたい内容だった。

<2回目>

- 身も心も軽くなった。特に、「大切にされている」という感覚の心地良さを身をもって体験することができた。子どもたちや職員とのつながりに今日の経験を生かそうと思う。
- 心がやさしくなれた。自分をいたわることで人をいたわり、優しくしてあげられることに気付いた。
- 話を聞きながら別室登校の子を思い出した。子どもたちにもぜひ聞かせたい話だった。子どもたちにかける言葉を意識していきたいと感じた。

2 次年度の活動の方向

- ・ 実験や演習を通して、保健指導の実際を考えることを次年度も続けていきたい。
- ・ 食物アレルギーへの対応等の喫緊の課題についても研修を深めたい。